

令和8年度 第2回  
国府地域振興未来会議議事概要

日 時：令和8年6月12日（金）13時半～15時半

場 所：国府町総合支所大会議室

出席委員：山田一孝、前岡美華子、倉持裕彌、福田克彦、長尾隆基  
福田大輔、矢芝好美、岸田玲子

事務局：須崎支所長、川口副支所長兼地域振興課長、田渕産業建設課長  
石原地域振興課長補佐

◎会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 国府地域未来プラン実施計画について . . . . . 資料1
- 4 地域振興未来会議第4回ワークショップ . . . . . 資料2
- 5 閉会

【概要】

- 3 国府地域未来プラン実施計画について  
事務局より説明

4 地域振興未来会議第4回ワークショップ

《グループ①》地域資源を活かした賑わいづくり

〔委員〕 前回のまとめでは、情報発信をどのツールとするかが課題という話だったが、ツールを一つに固定してしまうのはいかがでしょうか。支所もインスタで情報発信しているが、職員が異動して以降、あまり活用できていないのではないか。

〔事務局〕 情報が掲載されていないわけではないが、確かにあまり進捗がない。

〔委員〕 ただ、これらの情報発信を行政に任せきりになっているように思う。住民の我々も地域の状況はよくわかるのだから、我々でもこれを動かさせていけたらいいと思う。行政も全て情報が出せるわけではない。自分でも何か出せないかなとアカウントを作ってみようとしたところ。HPは作っても認知されなければ意味がない。市の観光協会で作っているHPでも維持費がかかるという。インスタも大勢の人がしている中で、国府町のことが引かかるかどうか。しかし、そんな中でも地元の人に何か引っかければと思う。

- [委員] 自分はインスタをしていないが、若い人だけ、SNSやインスタをしている人だけに向けての発信だけでいいのかと思う。インスタの情報を市報に出してもらえたりすれば、何回かは見てもらえるのではないかな。
- [委員] 情報を見逃していることもよくある。こんな行事があったのかと後で知ることもある。
- [事務局] 地域の資源、地域お宝の情報をどのツールを活用してどう発信したいと考えていらっしゃるのか、どのような資源があるのか、今回委員の皆さまが考えるところから拾い上げていったらどうだろうと思ったところ。実現可能かどうかは置いておいて、忌憚のないご意見をいただきたい。
- [委員] 国府町の外に住んでいる人は、雨滝はすごく魅力的だと言うが、住んでいる自分は把握できていなかった。高齢化していく中で市民がツールを使って発信するというのもハードルが高いのではないかな。中学生など、若い人に頼むのは他力本願だろうか。  
紙媒体も一つの方法だと思う。以前、国府町のことを新聞で取り上げてもらった時は注目度が上がった。
- [委員] ツールによってはターゲットを絞らざるを得ない。若い人たちは新聞を読んでいないと思われるので、ツールに合わせた発信は必要。知らない場所を旅する時は、飲食店をインスタやXで調べるので、情報を上げておけば引っかかりやすいことはない。新聞にしてもインスタにしても効果はあるので発信することに意味はあると思う。ただターゲットは絞ったほうがいい。
- [事務局] 砂丘にはX等で拡散されている情報をもとに来られている外国の方が多い。ツアー客というよりも個人で調べて、ここに行きたいとレンタカーで来られることがある。何もない場所だが、非日常の景色に魅力を感じているようだ。何もないことが良いのだと思う。住んでいる人が魅力を感じることは大事だが、これをどう発信するか、どうつなげていくか、どう人の心に刺さるようにするかだと思う。実際に来た人が実体験でよかったと発信することで、それが他の人に刺さるように思う。委員の皆さんには、手段は後でもよいので、ここを紹介したいという場所を教えてほしい。  
個人的には「食」は大事で、国府にないわけではないが少ないのでは。
- [委員] 前回は池田家墓所、美歎水源地が挙がった。
- [委員] 国府の自然は魅力的。扇ノ山は登りやすいし、途中見晴らしがよい場所がある。殿ダムには遊具もあり、出会いの森くらい人が来てもいいと思うし、近いのにもったいないと思う。田んぼの生き物もたくさんいる。市内から自転車でも来られるし、ランニングする人も国府町は走りやすいという。国府町内で完結するし、これらを発信すれば国府町のイメージアップになるのではないかな。
- [委員] 米子や倉吉と比べて公園や遊ぶところが少ないという意見もある。子連れ世代が遊ぶのに公園が整備されていないといけないうと思う。

- [委員] 住んでいる人が日常的に行ける場所が必要で、外の人が見ていいと思う場所は普段から我々も利用しないといけない。
- 先日、地元の話し合いで、近くに大きな公園はあるのに草刈りができないので公園はいらないという議論になり残念に思った。
- 自分が紹介したいのは万葉歴史館。万葉コスプレができることをもっとPRしてもいいのではないか。万葉ウィークに万葉衣装を着て仕事をした時は、地元の人に喜ばれた。この取り組みが広がれば湯梨浜町のアロハのように注目されると思う。
- 殿ダム周辺は殿ダムウォーキングでよく歩いていた。いい場所なのでもっとPRしてもいい。国府町の自然についても、以前は自然と親しむイベントを年に数回開催していて、街から子どもたちが遊びに来て地元と交流をしていた。
- [委員] 国府町のお米はおいしいと言われる。ブランド米（万葉美人米）もあるし、ぶどうもある。
- [事務局] 国府町にはおいしい食べ物はたくさんあるが、いつでもここで買えるという場所が必要。
- [委員] 以前は扇の里がお弁当を作っていた。
- [委員] 吉野そばもなくなった。勿体ないと思う。
- [事務局] 出雲のように、食ひとつでも観光と結びつけば強みになる。人が押し寄せても受け入れ態勢が整うかというのもあり、たくさん来られても困るということもあるかもしれない。これからホテルの時期になるが、美歎や栃本もイベントが定着してお客さんも来るようになったが、これが一過性でいいのか。
- [委員] カフェ、フルーツの話があったが、誰かが働いて何となくお店ができているという形になれば理想だが、このためには情報発信や横のつながりが必要。
- [委員] パン屋の空き店舗に土日限定でケーキを作っている人をお試しで迎えるというのも面白い。ただ、趣味でしている人がお披露目で出店するのはいいが、これで利益を出そうというのは難しいかもしれない。
- [委員] となると企業とコラボするとか、道の駅があればお土産を買ったり食べたりできるところがかたまっていていいのだが。
- [委員] 美歎に甕山がある、以前は展望台もあった。
- [委員] 甕山に登って万葉衣装で一首詠んで帰るとか。
- [委員] 万博で万葉衣装は外国の方に刺さったようだ。
- [委員] 河合谷のバーベキューはまだあるか。
- [事務局] 今はもうやっていない。河合谷へはよく行く機会があったが、見晴らしのいいところで食べるカップラーメンはおいしかった。そんな発想でも良いと思う。殿ダム広場限定カップラーメンを売るとか。
- [委員] インスタは手軽。みんなでしてみようとか。

- [委員] 知らない所ではグーグルマップをよく使う。口コミは信用がおける。インスタやXは数打てば当たるということになるかも。
- [委員] 我々が国府町をフィールドワークで回ってみて、いいところをみんなで発信していくとか。
- [委員] 次回までにフィールドワークはどうだろうか。7月12日（日）9時から因幡万葉歴史館駐車場集合で委員が行きたい所を持ち寄って決めるということで。車は乗り合わせで、お昼を食べて解散。
- [委員] 宇倍神社とかいつでも観光客が来るところはやめて、あまりメジャーでないところがいい。情報をたくさん上げておくと、意外なところで反応がある。

#### 【今日のまとめ】

地域資源をどう活かしていくかということだが、地元に住んでいても知っているが行ったことがない、行ったことがないからその魅力をどう発信したらよいか分からない、「食」についても良いものがいっぱいあるが、これをどう発信するのが難しいなという話になった。そこで、地元をもっとしっかり見たほうがいいのかなという事でフィールドワークをする。今後はどうPRするかという事も含めながら賑わい作りを検討していきたい。

#### 《グループ②》持続可能な地域づくり

- [委員] 今回のテーマの目的をおさらいすると、ゆるくつながりたいということ。以前委員さんからの発言でもあったとおり、濃いつながりは疲れるし、かといって都市みたいに隣が分からないというのでもなく、中間的なゆるいつながりがちょうどよく暮らしやすいとか愛着がわいたりする。その中間的なつながりがないので、まずは委員でそれにチャレンジするというのが一つ。もう一つは、前回までの会で何を議論していたのか思い出すのに時間がかかるのがもったいない。この二つを同時に解消できないか、まずは委員同士がつながって見て、空白がどれくらい埋まるのか、DXツールでうまく補えないかということからきている。
- [委員] 議論の継続とゆるいつながりを作る手段ということで理解した。
- [委員] このグループの着地点を迎えつつある中で、アクションを一つ起こしてみる。大きく言えばこの国府でどう豊かに暮らしていくのかという壮大なテーマに取り組んでいる中で、提言をまとめるというよりはまずは委員という身内から実体験を伴ってアクションを起こしてみるという段階にいる。
- [委員] いろんな情報を共有して地域おこしの事につなげる。
- [委員] 人の顔が見えるかどうかくらいのところを作ってみる感じ。
- [委員] Line と仕分けるためにチャットの方がいいのでは。
- [事務局] チャットだと無料プランは履歴が残らない。
- [委員] 自分はLine より Discord をお勧めする。部屋を分けられるし、通話しながら画面共有できる。

～委員同士で設定完了～

[委員] 神垣のコンテナハスはどうだった？

[委員] 隣に畑があって、買い物に来た人がその畑で好きな野菜を選んでいた。

[委員] 儲かる値段ではないけど安く買いやすい。

[委員] 雨滝瀧の傘でも販売をやろうとしていたけど、いかんせん遠すぎる。他には栃本の商店を改装してやりたいという計画のある人もあったという。

[事務局] 31号線沿いにはわりとお店があって、それが線で繋げていけたら何か面白いんじゃないかなと思う。

[委員] せっかく畑があっても年配すぎて畑ができない人が多くなり休耕地が多い。

[委員] やはり大茅の使用していない施設を使って安く住むところができないかと思う。休耕地も栄養があるせいで雑草がとんでもない速度で生える。大茅の水は綺麗で昔は雨滝の湧き水が商品だった。大茅は水に関しては困らない土地。

[委員] 今年はクマの情報が少ない。豊作の後の年は増えると聞いていたが、工事をしているので寄り付きはしないのか。

[委員] 毎年笹巻の笹を美敷で採っていたけど、クマの情報があったので今年は買うことにした。

[委員] 以上のような計画や情報をこのツールに上げてもらおうと、委員同士のネットワークから情報が広がっていく。逆に広がっては困る情報は慎重にした方がいい。繰り返し使っていくことでやりながら覚えていく。対面で会議をしなくてもよくなる。逆に対面だからこそこの場で話しておこうという内容を議論していく方がいい。操作はもちろん、お金の話とか情報に載せにくい話とか、個人情報の話とか。

[委員] 今年度地域おこし協力隊が農業体験事業をしようとしているのでこれに上げてもいいか。

[委員] 委員自体が情報を載せる機会はそんなにないと思う。逆に治郎萬さんが何か情報を投げてくださいのを期待したい。それを見ながら委員の皆が反応するきっかけが作ってもらえる。

[委員] 今後どんな議論をしていくか。

[委員] 理想は休耕地を復活させる。農家をやりたい人が集まって、農業だけでやりくりできるようになるのが理想。空いている施設でシェアハウスとか。

[委員] 住むところがないと進まない。

[委員] 農業やりたい人は、空き家があって農地が付いているというのが欲しい。

[委員] このつながりの濃い地域ではお互いにしんどくなる。企業がシェアハウスをするのがいい。

[委員] 農業をやっているのに祭に来ないのかというようなプレッシャーはよくない。昔のコミュニティが残っていて強いつながりの影響がある。

[委員] 遊休農地の話、担い手の話か。

### 【今日のまとめ】

まずは委員同士でつながった。Discord を導入し、この会で直接集まらなくても話せるし、情報を共有できるようになるというのを達成した。導入の狙いは、ゆるくつながるつながりを増やすことが豊かな暮らしに繋がるのではないかという仮説に対して、まず委員がつながってみて、情報を共有したり議論をしたりしながら実際にそれを通じてどう感じるのかを検証してく。

今後は遊休農地の話や担い手の話をこのグループで議論できる切り口はないか検討していきたい。

## 5 閉会

次回の開催日時

令和8年8月25日（火）13：30～

国府町総合支所大会議室